



CN-RX06D



品番 CN-RX06D CN-RX06WD

取付説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に取り付け、配線してください。
 特に「安全上のご注意」(P.2~4)は、取り付け、配線の前に必ずお読みください。
 取付説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で取り付けられたことにより
 事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その取り付けが原因で故障が
 生じた場合は、製品保証の対象外となります。

販売店様へお願い

- 取り付け後、この取付説明書は必ずお客様にお渡しください。

お客様へお願い

- 取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

接続端子一覧

取り付けの際に、確認用としてお使いください。
 配線についての詳細は「配線のしかた」をご覧ください。(P.6~10)

ETC2.0車載器接続端子(ETC2.0)

- 別売のETC2.0車載器を接続する。
- 使用しないときはシールをはがさないでください。

iPod/USB中継ケーブル接続端子(iPod)

- 別売のケーブルを使って、iPod、iPhoneや市販のUSBメモリーを接続できます。
- 使用しないときはシールをはがさないでください。

HDMI入力端子(HDMI IN)

① ナビゲーションユニット (後面)

排熱用ファン

周囲をふさがらないでください。

電源コネクタ (POWER FUSE 15A) ヒューズ15A内蔵

マイク接続端子

車両・AVインターフェース接続端子(AV I/F)

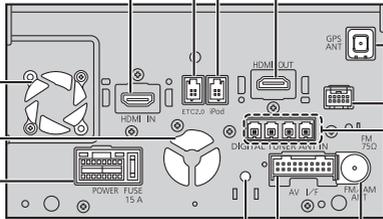
HDMI出力端子(HDMI OUT)

GPSアンテナ接続端子(GPS ANT)

ドライブレコーダー接続端子 別売のドライブレコーダーを接続する。

地上デジタルアンテナ接続端子 (DIGITAL TUNER ANT IN)

ラジオアンテナ入力端子(FM/AM ANT)



もくじ

接続端子一覧	表紙
安全上のご注意	2
作業の順序	5
取り付け・配線の前に	5
配線のしかた	6
圧着式コネクタの取り付けかた	6
ロック付きコードの取り付けかた	6
保護カバーの取り付けかた(外れ防止・コネクタ保護)	7
電源コード/車両・AVインターフェースコード	8
アンテナ/マイク	10
マイクの取り付けかた	11
サンバイザーに取り付ける場合(推奨)	11
ステアリングコラムカバーなどに取り付ける場合	11
アンテナの取付位置について	12
GPSアンテナの取り付けかた	13
地上デジタルアンテナの取り付けかた	14
ガラスにアンテナを貼り付ける	14
アンテナコードを取り付ける	15
ナビゲーションユニットの取り付けかた	16
他の機器と組み合わせて使う	18
iPod (iPhone)	19
USBメモリー	19
スマートフォン連携 (Drive P@ss)	20
ドライブレコーダー	21
ETC2.0車載器	22
ビデオカメラ	22
後席用モニター	23
リアビューカメラ	23
取り付け・配線の確認	24
電源を入れる	24
ツートップメニューを表示させる	24
車両信号情報を確認する	24
拡張ユニット情報を確認する	24
車種を設定する	24
ステアリングスイッチの設定をする	26
GPS情報を確認する	27
商標などについて	27
内容物の確認	裏表紙

本書の読みかた

- 機種ごとに仕様が異なる場合は、下記のアイコンで区分しています。

RX06 : CN-RX06D

RX06W : CN-RX06WD

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

必ずお守りください

警告



本機はDC12 V \ominus アース車専用です
DC24 V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

本書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの \ominus 端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

アースコードを車両側のアース部分に確実にねじ止めする
アースコードが確実にねじ止めされていないと、火災や感電、故障の原因となります。

サイドブレーキコードを正しく配線する
安全機能が動かず、交通事故の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
*ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど

フィルムアンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける
視界不良による事故の原因となります。

取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。



視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない
交通事故やけがの原因となります。

*ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない
カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。
車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグでナビゲーションや部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

警告



取り付けやアース配線に、車の保安部品*を使わない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

*ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように配線してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。



分解や改造をしない

交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

- コードの被覆を切って他の機器の電源をとるのは、絶対におやめください。
- アースコードの改造や、他の機器とのアース接続は絶対におやめください。

分解禁止

注意



必ず、付属品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

しっかり確実に取り付ける

走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。

取り付ける場所の水気や汚れ(ほこりや油など)は、取り除いてください。

取り付けの状態(接着やねじのゆるみなど)を、ときどき点検してください。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。



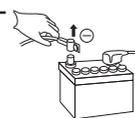
本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

作業の順序

1

バッテリーの⊖端子を外す



2

付属のアンテナやマイク、および他の機器(別売品)を取り付ける

必ず仮止めをして、取り付ける位置を確認してください。

- 他の機器と接続する場合は、接続する機器の説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

3

各種コード/ケーブルを配線する

- 車両側との配線が容易にできる別売の中継コードなどがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

お願い

- 必ずアースコードを最初に接続してください。



- ショート事故防止のため、電源コネクタへの接続は、必ず他の配線を済ませてから最後に行ってください。

4

ナビゲーションユニットを車両に取り付ける

- 車種・グレード・年式により、別売の取付キットなどが必要となる場合があります。

5

バッテリーの⊖端子をもとに戻す

お願い

- バッテリー端子取り付け用ナットは、寸法が合った工具を使用し、しっかりと締め付けて固定してください。

6

取り付け・配線を確認する(P.24)

取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- 盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーを外すと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなる場合があります。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法が合った工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線がされていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

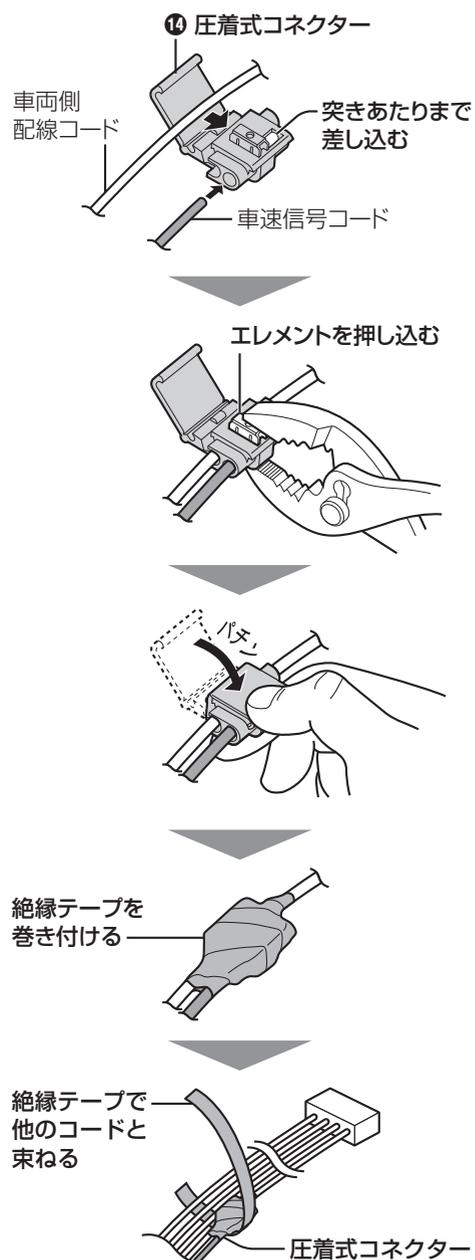
お願い

- コネクターは確実に差し込んでください。
- 各コードに接続するコネクターが合わない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- コードを引き回す際は、高熱部や車体の金属部との接触を避け、コードクランパーや市販のテープなどで要所を固定してください。
- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にヒューズの交換を依頼してください。(→取扱説明書)
- 使用しないコードやコネクターは、先端をビニールテープなどで絶縁してください。
- キャップ付きのコードは、使用しないときはキャップを外さないでください。
- 各種アンテナコード(地上デジタル、ラジオ、GPS)は、電源コードとは別々に配線し、本機に接触しないようにしてください。また、あまった各種アンテナコードは別々に束ねてください。一緒に束ねるとアンテナの受信感度が低下したり、映像・音声にノイズが入る原因となります。
- スピーカーは最大入力50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ωから8 Ωのスピーカーをご使用ください。
- 故障の原因となりますので、長さの異なるねじを使用しないでください。
- 六角ボルト用の手締め工具で確実に締め付けてください。
- 電動ドライバーを使用しないでください。過度の負荷がかかり、破損するおそれがあります。

配線のしかた

圧着式コネクタの取り付けかた

指定の箇所以外に使用しないでください。



ロック付きコードの取り付けかた

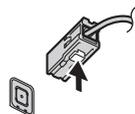
矢印の方向に押しながら、取り外す。下記のコードには、コネクタに外れ防止用ロックが付いています。カチッと音がするまでしっかりと挿入してください。

- ② GPSアンテナ
- ⑤ 地上デジタルアンテナコードA
- ⑥ 地上デジタルアンテナコードB
- ⑨ 電源コード
- ⑩ 車両・AVインターフェースコード

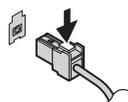
取り外すには

- 無理に引っ張ると破損する場合があります。
- 必ず、ロックが解除されていることを確認してから取り外してください。

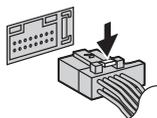
② GPSアンテナのコード



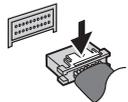
⑤ 地上デジタルアンテナコードA
⑥ 地上デジタルアンテナコードB



⑨ 電源コード



⑩ 車両・AVインターフェースコード

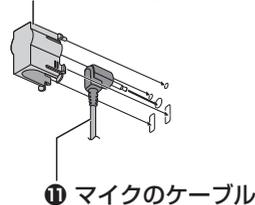


保護カバーの取り付けかた (外れ防止・コネクタ保護)

■ マイクケーブル保護カバー

付属のマイクを接続後、必ずコネクタにカバーをかぶせてください。

⑬ マイクケーブル保護カバー



⑬ マイクのケーブル

取り外すには



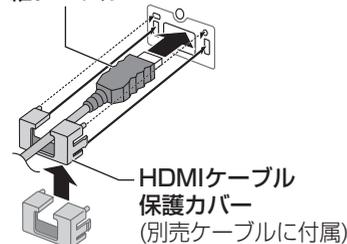
矢印の方向に押しながら取り外してください。

■ HDMIケーブル保護カバー

別売のHDMI接続用中継ケーブルを接続時は、必ずコネクタにカバーをかぶせてください。

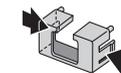
- HDMI入力端子 (HDMI IN) を例に説明しています。HDMI出力端子 (HDMI OUT) は上下が逆になります。

別売のHDMI接続用中継ケーブル



HDMIケーブル保護カバー (別売ケーブルに付属)

取り外すには



矢印の方向に押しながら取り外してください。

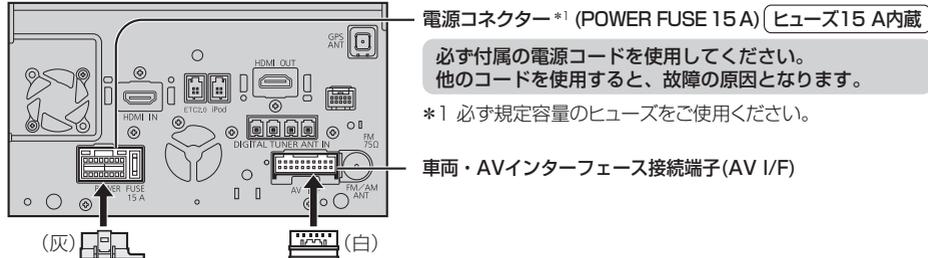
お願い

- 無理に引っ張ると、破損する場合があります。必ず、カバーのロックが解除されていることを確認してから取り外してください。カバーが取り外しにくい場合は、いったん押し込んでから、もう一度取り外してください。

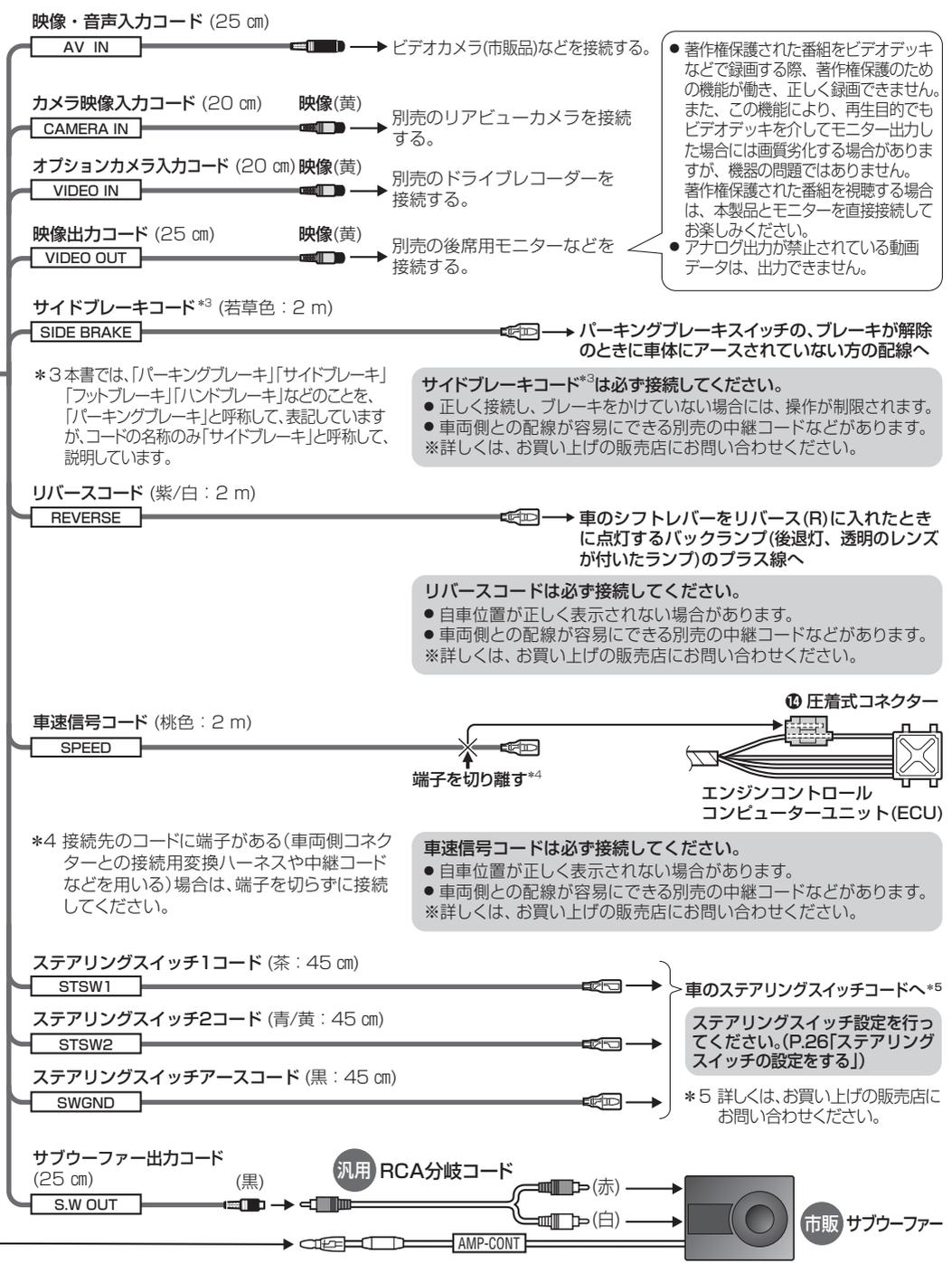
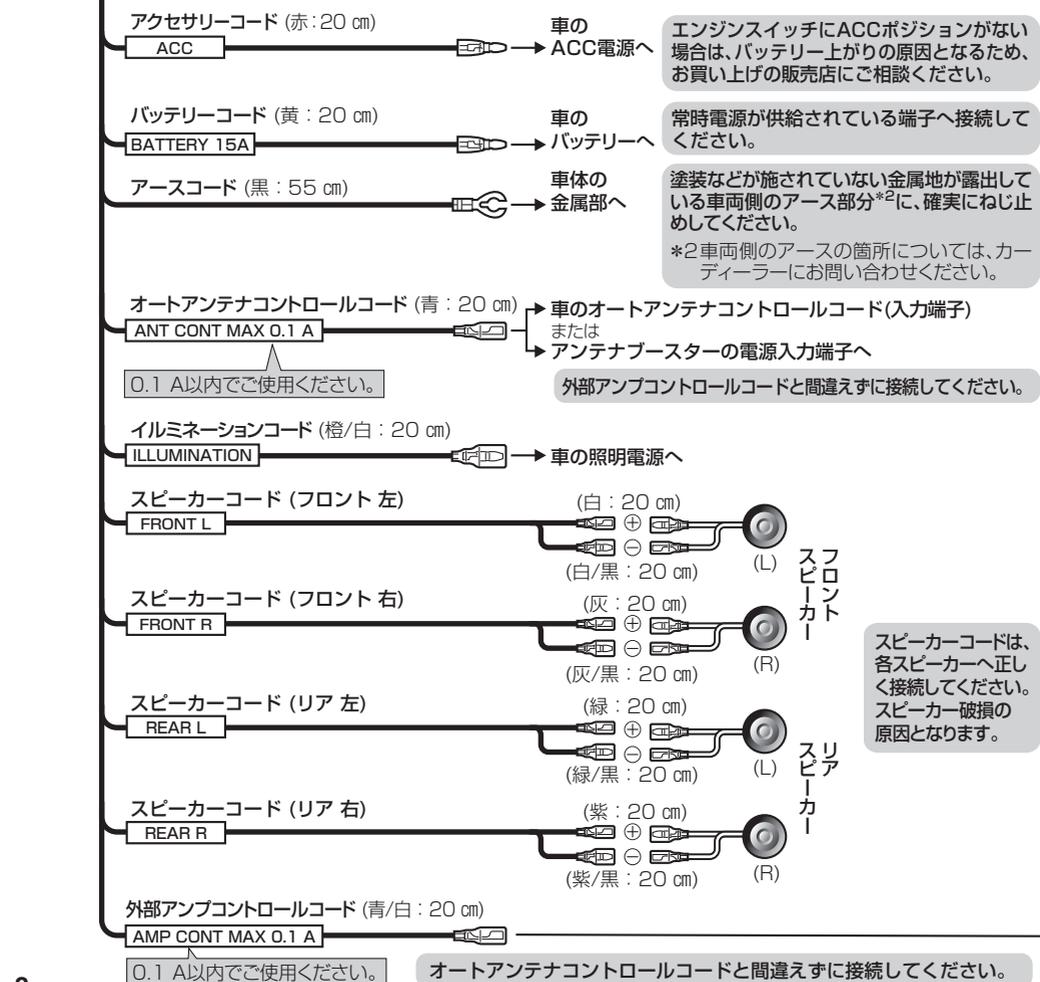
配線のしかた(続き)

電源コード/車両・AVインターフェースコード

1 ナビゲーションユニット(後面)



9 電源コード



●著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は、本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

●アナログ出力が禁止されている動画データは、出力できません。

サイドブレーキコード*3は必ず接続してください。

- 正しく接続し、ブレーキをかけていない場合には、操作が制限されます。
- 車両側との配線が容易にできる別売の中継コードなどがあります。

※詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

リバースコードは必ず接続してください。

- 自車位置が正しく表示されない場合があります。
- 車両側との配線が容易にできる別売の中継コードなどがあります。

※詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

車速信号コードは必ず接続してください。

- 自車位置が正しく表示されない場合があります。
- 車両側との配線が容易にできる別売の中継コードなどがあります。

※詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

車のステアリングスイッチコードへ*5

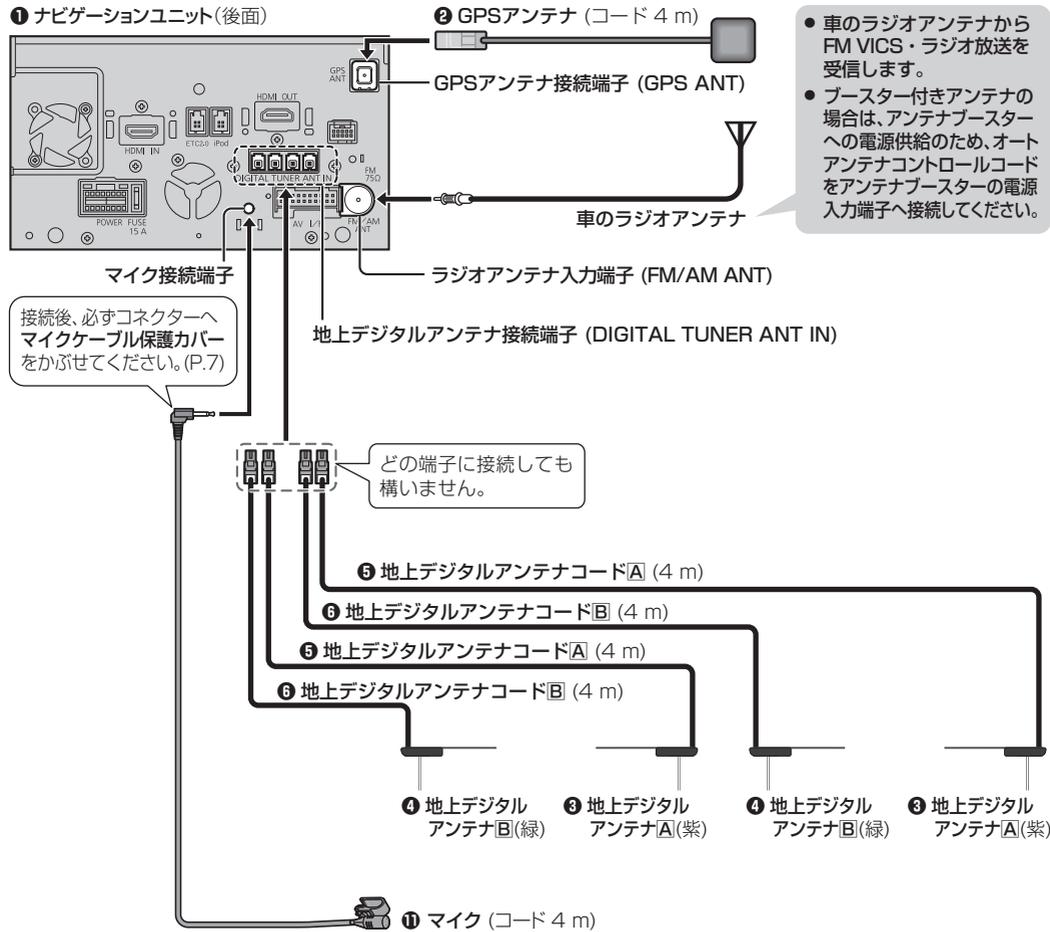
ステアリングスイッチ設定を行ってください。(P.26「ステアリングスイッチの設定をする」)

*5 詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

スピーカーコードは、各スピーカーへ正しく接続してください。スピーカー破損の原因となります。

配線のしかた(続き)

アンテナ/マイク



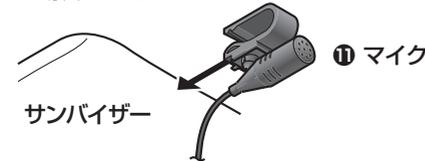
マイクの取り付けかた

- 発声する人の口元から20 cm～40 cm離してください。マイクからの距離が近すぎたり、遠すぎたりすると誤認識の原因になります。
- 必ず、付属のマイクを使用してください。

サンバイザーに取り付ける場合(推奨)

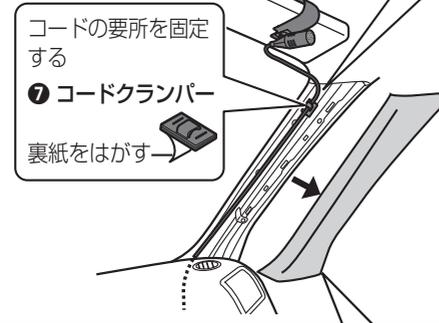
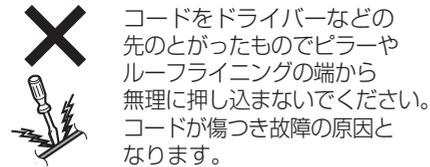
1 マイクをクリップで取り付ける

- 認識率がよくなるように、サンバイザーの適切な位置に取り付けてください。
- 無理に取り付けると、クリップが破損する場合があります。



2 コードを引き回す

例) ピラーの内側に配線する場合



ピラーのカバーを取り外す

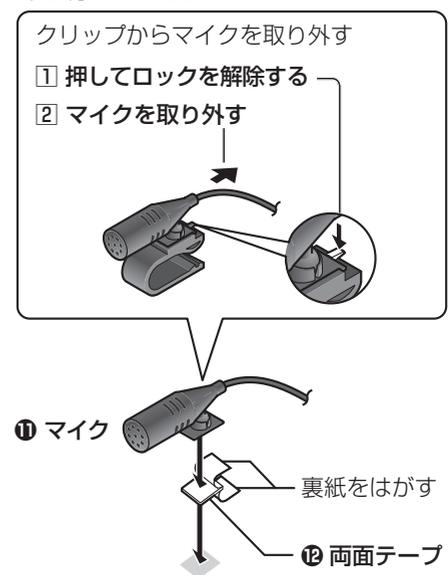
- 取り外しかたは、車種によって異なります。
- 配線後、もとに戻してください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合は、取り付けできません。

車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

ステアリングコラムカバーなどに取り付ける場合

1 マイクを両面テープで取り付ける

- 運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- なるべく車のスピーカーから離れた位置に取り付けてください。



2 コードを引き回す

- 運転や乗り降りの妨げにならないように、コードクランパーでコードの要所を固定してください。

アンテナの取付位置について

■ 車両装備の仕様や注意事項を車両メーカー・カーディーラーに確認してから作業してください。

- ピラーにエアバッグが装備されている場合、取り付けできません。
- 電波を通さないガラス（熱線反射ガラスや電波不透過ガラスなど）が装備されている場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 国土交通省の定める保安基準*1に適合させるため、地上デジタルアンテナの給電部およびコードの端子は、必ず下記の取付許容範囲内に貼り付けてください。

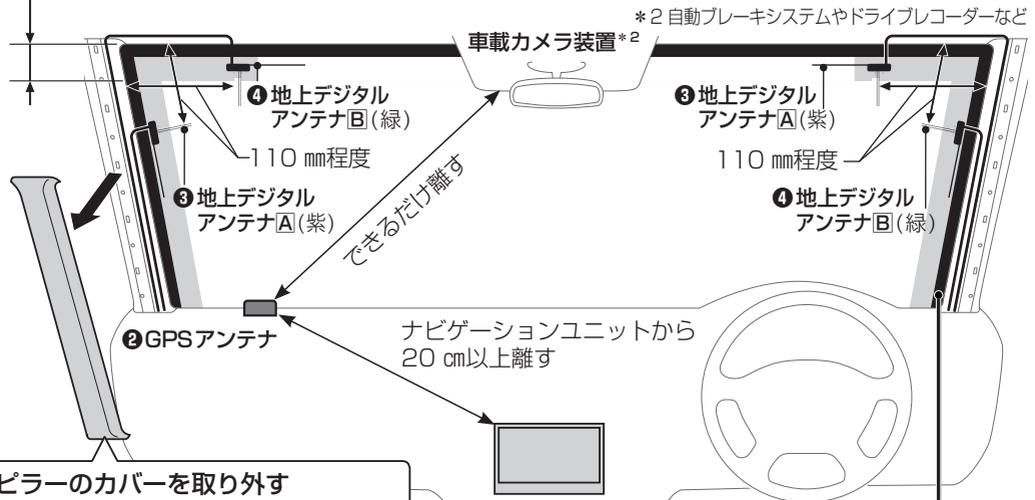
- *1 道路運送車両の保安基準 第29条（窓ガラス）
最新の保安基準は、国土交通省のWeb サイトをご確認ください。

取付許容範囲： ■ 部

地上デジタルアンテナの給電部をフロントガラスの端から25 mm以内に貼り付けてください。

地上デジタルアンテナは、性能を十分発揮するために、必ず車室内の指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。

- 指定の位置や寸法内に取り付けられない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



ピラーのカバーを取り外す

- 取り外しかたは、車種によって異なります。
- 配線後、もとに戻してください。

- 車両によっては、ルームミラーに近い地上デジタルアンテナ2本をリアクォーターガラスに設置します。そのときは、別売の地上デジタルアンテナコード5.5 m(CA-LDT550D)が必要となる場合があります。

✕ 地上デジタルアンテナは、下記のような貼り付けを、絶対にしないでください。

- 国土交通省の定める保安基準に適合しない場合があります。
- アンテナの性能を十分に発揮できません。

点検シールなどに重ねて貼らない
アンテナの [A] [B] を逆に貼らない
重なった位置に貼らない
アンテナの給電部およびコードの端子は取付許容範囲外に貼らない



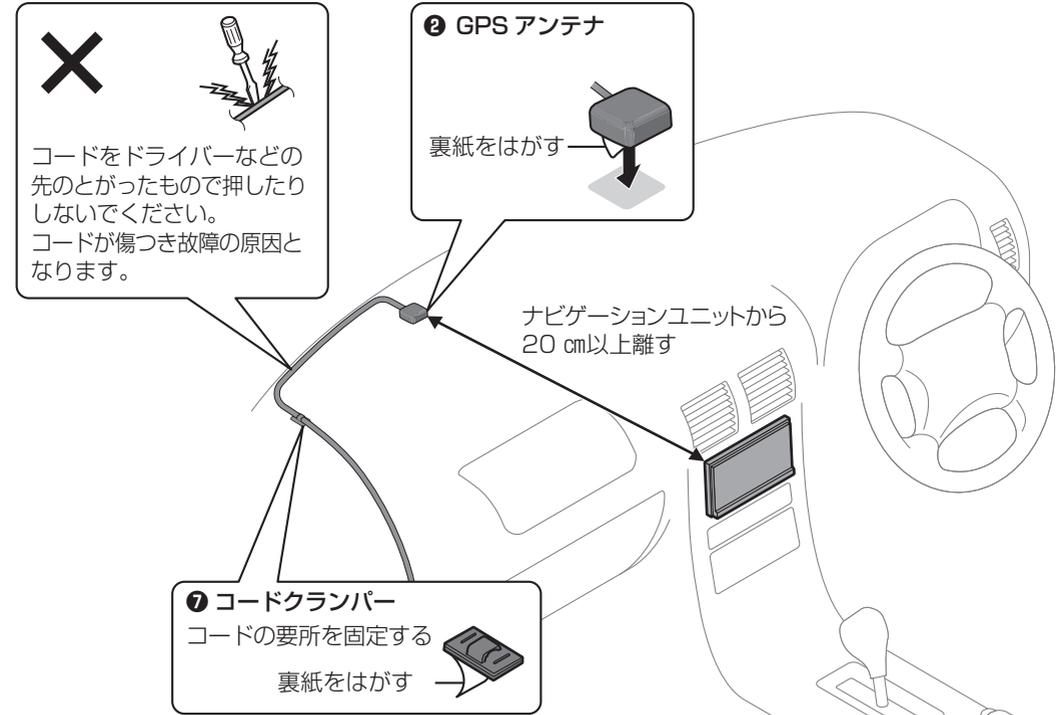
GPS アンテナの取り付けかた

必ず車室内（ダッシュボード上のガラス付近）に取り付けてください。

- 防水構造ではありませんので、車外には取り付けしないでください。

取り付ける前に

- 設置面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- 妨害による受信感度低下を防ぐため、他の機器からできるだけ離して設置してください。また、他のアンテナから15 cm以上離して、それぞれのコードは別々に配線（引き回しを左右別方向にするなど）してください。



お知らせ

- 車体の形状や電波を通さない一部のガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。（→取扱説明書）
- 受信状態が悪い場合は、GPS アンテナを受信状態の良い場所に設置しなおしてください。（P.27）

地上デジタルアンテナの取り付けかた

取り付ける前に

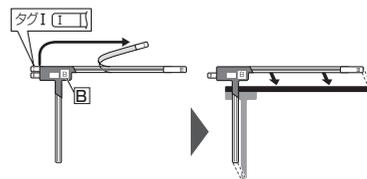
- アンテナを折り曲げないよう、お取り扱いにご注意ください。
- 貼り付ける前に、付属のクリーナーで設置面(ガラス面、ピラー)の汚れ(ごみ・ほこり・油)などをきれいに拭き取り、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。
 - ・ガラス面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。
 - ・気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでガラスを温めてください。
 - ・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- 仮止めして、貼り付ける位置と左右の向きをご確認ください。貼りなおせません。
- 糊面や給電部に手を触れないでください。接着不良によるはがれの原因となります。
- 妨害による受信感度低下を防ぐため、他のアンテナから20 cm以上離して貼り付けてください。

ガラスにアンテナを貼り付ける

地上デジタルアンテナB(緑)を例に説明しています。A(紫)も左右対称にして同様に貼り付けてください。必ず指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。

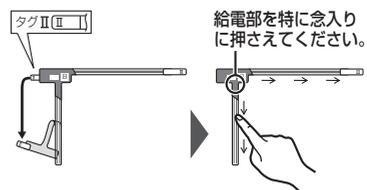
1 タグIを持ってセパレーターをはがし、貼り付ける

- 強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線の原因となります。
- 貼り付け位置を確認してから貼り付けてください。



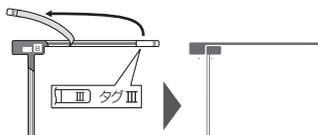
2 タグIIを持ってセパレーターをはがし、アースパターン/給電部/エレメントをしっかりガラス面に密着させる

- 貼り付けたあと、矢印の方向に、指などで均等に押し付け、ガラス面に密着させてください。
- 車外から見て、ガラスに密着していることを確認してください。



3 タグIIIを持って、フィルムをゆっくりとはがす

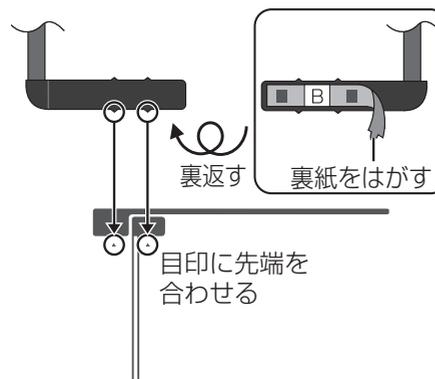
- アースパターン/給電部/エレメントが貼り付いていることを確認してください。
- フィルム側に残る場合は、フィルムをもとに戻して全体を上からこすり、再度はがしてください。



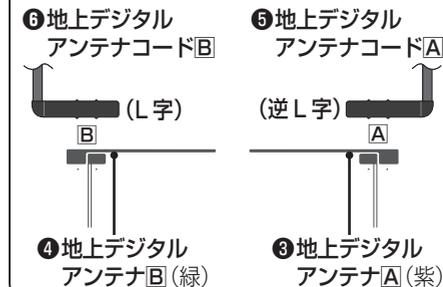
4 他の3枚も同様に貼り付ける

アンテナコードを取り付ける

1 端子をエレメントの給電部に貼り付ける



同じマークのアンテナとコードを組み合わせてください。



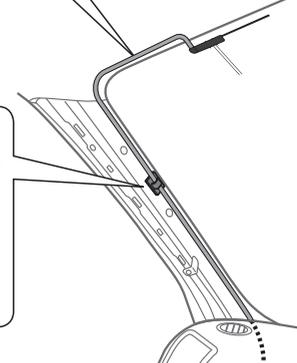
2 コードを引き回す

- 他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。TVの音声に雑音が入る原因となります。



アンテナコードをドライバーなどの先のとがったもので、ピラーやルーフィングの端から無理に押し込んだりしないでください。コードが傷つき故障の原因となります。

7 コードクランパー コードの要所を固定する



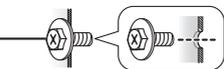
3 他の3本も同様に貼り付ける

4 アンテナコードをナビゲーションユニットに接続する (P.10「アンテナ/マイク」)

ナビゲーションユニットの取り付けかた

1 取り付け金具(ブラケット)を取り付ける

⑩ ワッシャー付き六角ねじ (M5 × 8 mm)



純正品の取付金具を使用してください。
取り付け強度が不十分となり、操作荷重によって、変形・破損するおそれがあります。

お願い

- 故障の原因となりますので、長さの異なるねじを使用しないでください。
- 六角ボルト用の手締め工具で確実に締め付けてください。
- 電動ドライバーを使用しないでください。過度の負荷がかかり、破損するおそれがあります。

■使用するねじ穴について

- トヨタ車・ダイハツ車の場合
「T」の刻印があるねじ穴(○)のうち、4カ所を選んで取り付けてください。
- 日産車・スバル車の場合
「N」の刻印があるねじ穴(●)に取り付けてください。
- 上記以外の車の場合
お買い上げの販売店にご相談ください。

2 オーディオスペースに取り付ける

RX06

■寸法

幅 180 mm × 高さ 100 mm (2 DINサイズ)

■角度

水平に対して40°以下

- 取付角度が大きい場合、ジャイロが正しく動作せず、自車位置が正しく表示されません。

RX06W

■寸法

開口部: 幅 200 mm × 高さ 100 mm
取付部: 幅 180 mm × 高さ 100 mm (2 DINサイズ)

■角度

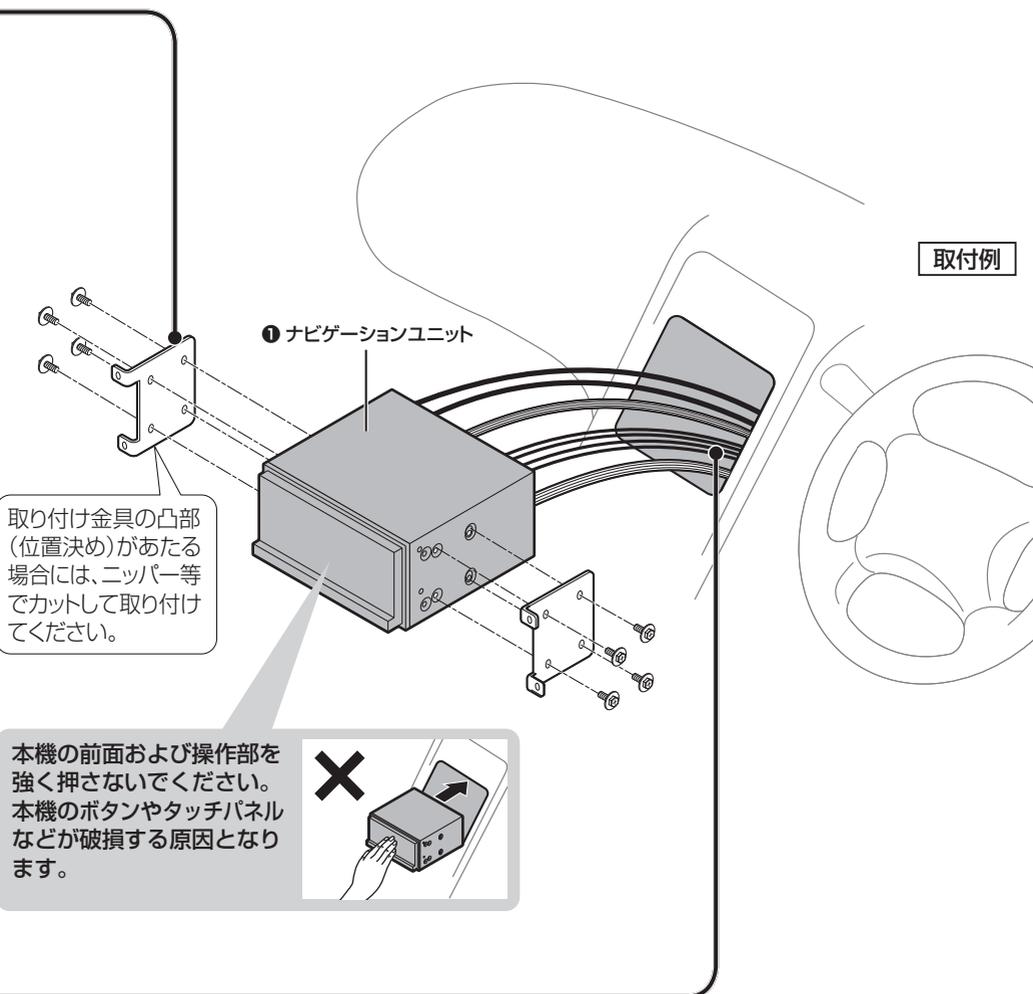
水平に対して40°以下

オーディオスペースに無理に押し込まないでください。
配線(コネクターやコード)に負担がかかり、接続不良の原因となります。

お知らせ

- オーディオスペースの形状や寸法により取り付けられない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。
- 車種・グレード・年式により、専用キット(別売)が必要となる場合があります。
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。



取付例

他の機器と組み合わせて使う

組み合わせる前に

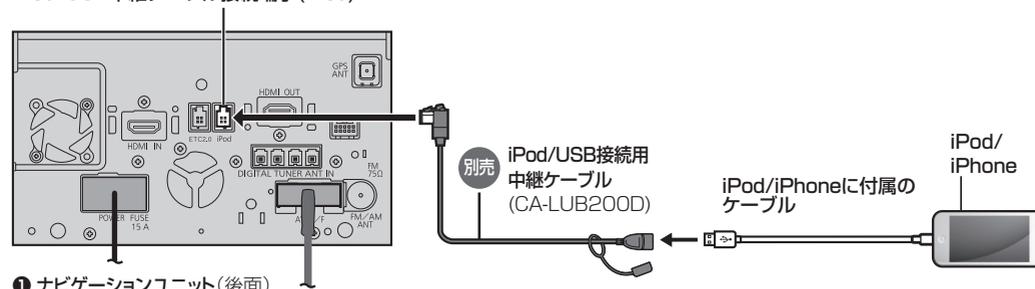
- 推奨品以外はご使用になれない場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 使いかたについては、取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器の説明書も、よくお読みください。

■ iPod/USBメモリー/スマートフォン使用時のお願い

- 必ず別売のiPod/USB接続用中継ケーブル(CA-LUB200D)で接続してください。
他のナビゲーションに付属されているケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。
- iPod/スマートフォンは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- 取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- 運転中に動かないように市販のホルダーなどでしっかり固定してください。
- 固定する際は、エアバッグの動作を妨げないようにしてください。
- 車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。
- 高熱部や車体の金属部、ヒーターの熱風や直射日光を避けて配線してください。
- 使用しないときは必ずコネクターにカバーやキャップをかぶせて保護してください。
- 対応機種については、取扱説明書および当社サイトをご覧ください。

iPod (iPhone)

iPod/USB中継ケーブル接続端子(iPod)

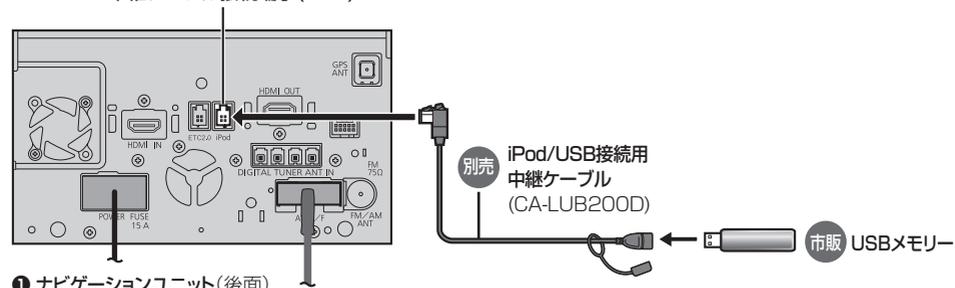


① ナビゲーションユニット(後面)

- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。
- Drive P@ss利用時の接続方法は→P.20

USBメモリー

iPod/USB中継ケーブル接続端子(iPod)



① ナビゲーションユニット(後面)

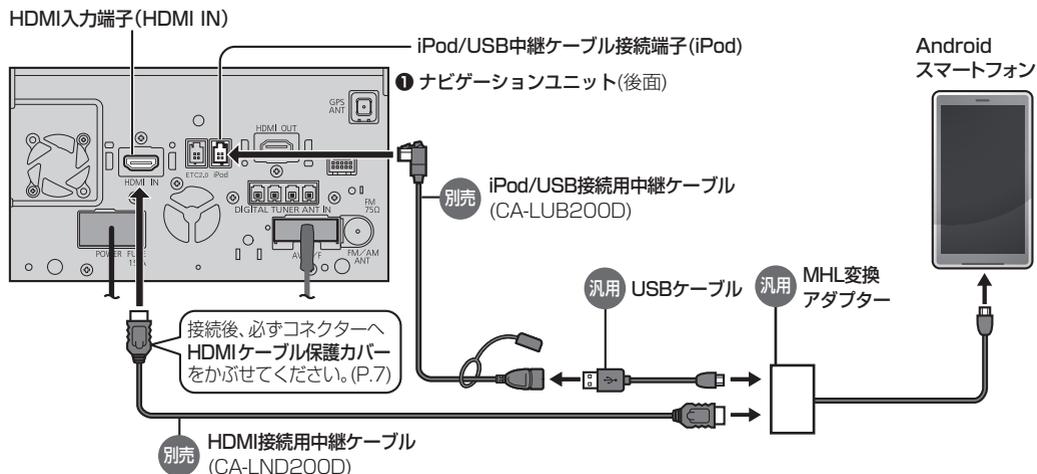
- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。

他の機器と組み合わせて使う(続き)

スマートフォン連携(Drive P@ss)

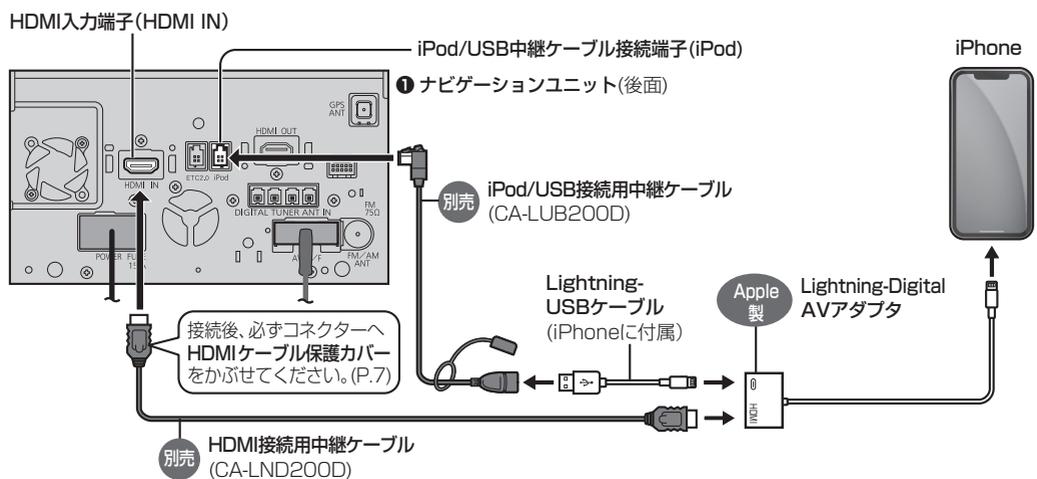
- スマートフォンによって必要なケーブルや機器が異なりますので、ご確認ください。
- 音声認識/「NaviCon®」/「CarAV remote」を利用する場合は、スマートフォンをケーブルで接続する必要はありません。

Android™ スマートフォンを接続する場合



- 接続するスマートフォンに適合したMHL変換アダプターやUSBケーブルをご使用ください。

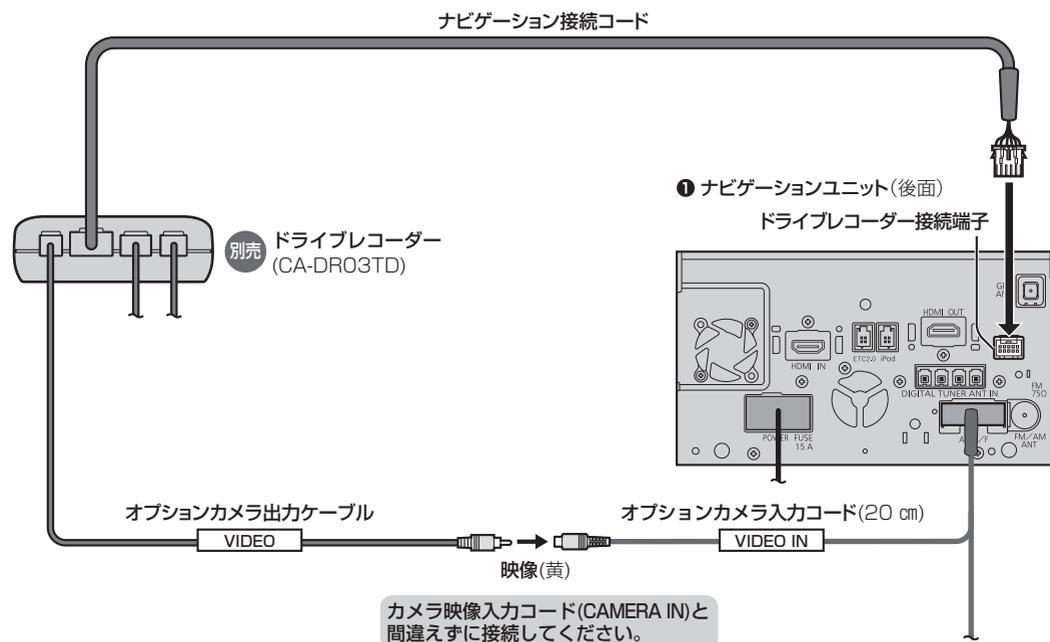
iPhoneを接続する場合



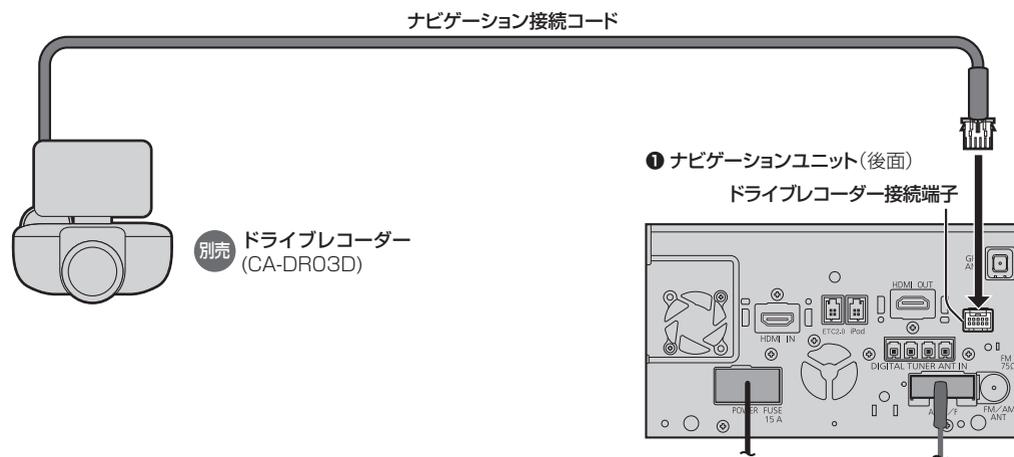
- Drive P@ssを利用しながらiPodミュージックを再生することはできません。Drive P@ss利用中は、Drive P@ss用のアプリ「Music Player for Drive P@ss」を使ってiPhone内の音楽を再生するか、配線を変えてiPodミュージックを再生してください。(P.19)
- Lightningコネクターを持つiPhoneのみ接続できます。

ドライブレコーダー

ドライブレコーダー(CA-DR03TD)と接続する場合



ドライブレコーダー(CA-DR03D)と接続する場合



他の機器と組み合わせて使う(続き)

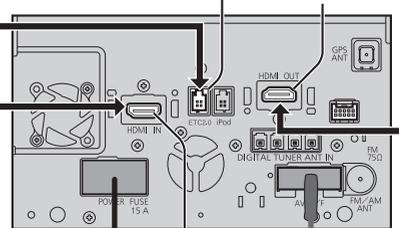
ETC2.0車載器

別売 ETC2.0車載器 (旧名称: DSRC車載器)
(CY-ET2500VD)

カーナビゲーション接続コード(ETC2.0車載器に付属)

- 接続する機器によっては、別売のDSRC車載器カーナビゲーション接続コード(CA-DC10D)を使用して接続する場合があります。詳しくは、接続する機器の説明書をご覧ください。

① ナビゲーションユニット(後面)
ETC2.0車載器接続端子 (ETC2.0) HDMI出力端子 (HDMI OUT)



HDMI入力端子 (HDMI IN)

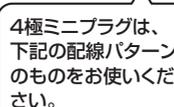
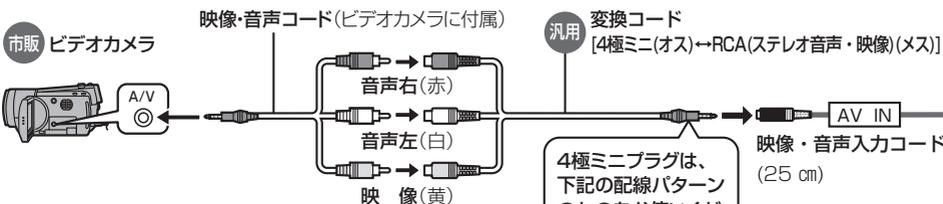
ビデオカメラ

HDMI対応機器の場合(HDMIケーブルで接続する)

市販 ビデオカメラ 別売 HDMI接続用中継ケーブル (CA-LND200D)



汎用機器の場合(映像・音声入力コードで接続する)

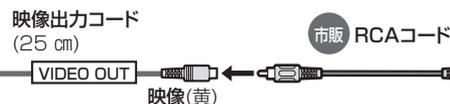


後席用モニター

HDMI対応機器と接続する場合

別売 HDMI接続用中継ケーブル (CA-LND500D)

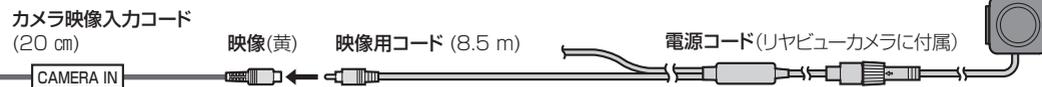
接続後、必ずコネクタへHDMIケーブル保護カバーをかぶせてください。(P.7)



- 本機のHDMI出力端子と映像出力コードは、必ず1台の後席用モニターに接続してください。別のモニターに接続しても、本機の映像を同時に複数のモニターで視聴することはできません。

リアビューカメラ

別売 リアビューカメラ (CY-RC100KD)



- 別売のマルチカメラシステム(CY-MCRS71KD:生産完了品)を接続する場合は、マルチカメラの信号コードを本機のリバースコードに接続してください。

お知らせ

- カメラ設定から、カメラ割込みを「ON」に設定してください。(→取扱説明書)

取り付け・配線の確認

電源を入れる

- 1 車のエンジンをかける (ACCをONにする)
 - 本機の電源が入ります。
- 2 警告画面の注意事項を確認して、**確認**を選ぶ
 - 現在地画面(自転車位置)が表示されます。
- 3 見晴らしの良い場所で、GPSの受信状態を確認する



- GPSを受信すると、方位マークの灰色の部分¹が黄色に変わります。
- しばらくたっても自転車位置が表示されないときは、GPS情報(P.27)から受信状態を確認してください。
- 正しい自転車位置が表示されていないと、学習レベル(P.25)は正しく表示されません。

車両信号情報を確認する

- 1 ツートップメニュー(左記)から、**情報・設定** → **情報** → **車両信号情報**を選ぶ
- 2 バッテリー電圧を確認する
- 3 車両信号情報を確認する
- 4 **センサー学習値初期化**を選ぶ
 - 車速パルスと学習レベルが初期化されます。初期化後は、車のエンジンを止め(ACC OFF)、約10秒以上過ぎてから再度電源を入れてください。
- 5 車速パルスを確認する
 - 現在地画面を表示させ、車両を少し移動させたあと、車速パルスを確認する

販売店様へお願い

- 以下はお客様にご確認いただくようお願いください。

- 6 学習レベルを確認する
 - 現在地画面を表示させ、見晴らしの良い道路をしばらく(60分以上)走行したあと、各項目を確認する

拡張ユニット情報を確認する

- 1 ツートップメニュー(左記)から、**情報・設定** → **情報** → **拡張ユニット情報**を選ぶ
- 2 拡張ユニット情報を確認する

車種を設定する

- 1 ツートップメニュー(左記)から、**情報・設定**を選ぶ
- 2 **システム設定**を選び、**その他設定**を選ぶ
- 3 **車種設定**を選ぶ
- 4 車種を選ぶ

+B電圧	バッテリー電圧が表示されます。12V(11V~16V)になっていますか？ アイドリング機能がある車の場合は、アイドリングストップ時およびエンジン再始動時の電圧が12V(11V~16V)になっていることも確認してください。
------	---

走行状態(パーキングブレーキ)	パーキングブレーキ*1をかけると、「停車」に、解除すると「走行」に変わりますか？
リバース	シフトレバーをリバース(R)に入れると「ON」、解除すると「OFF」に変わりますか？
スモールランプ	車のスモールランプを点灯させると「ON」、消灯させると「OFF」に変わりますか？

車速パルス	走行後、数字が変化していますか？
-------	------------------

学習レベル	走行後、数字が変化していますか？ ●距離：Level 1~Level 5 ●回転：Level 1-1~Level 5-5 ●3D：Level 1~Level 5
-------	---

*1 本書では、「パーキングブレーキ」「サイドブレーキ」「フットブレーキ」「ハンドブレーキ」などのことを、「パーキングブレーキ」と呼称して、表記しています。

お知らせ

- 次のようなコースでは、補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。
 - ・渋滞・停車を頻繁に繰り返す
 - ・右左折が多い
 - ・右左折が極端に少ない
 - ・GPS信号を受信しにくい
- 次の場合にも「センサー学習値初期化」をしてください。
 - ・別の車に本機を載せかえた
 - ・タイヤを交換した
 - ・タイヤをローテーションした
- 「車速信号が検出できません」と表示された場合は、車速信号コードの接続を確認してください。
- 車種によっては、速度を上げると自転車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

iPod*2	iPod、iPhoneを接続している場合、ON表示になっていますか？
USB*2	市販のUSBメモリーを接続している場合、ON表示になっていますか？
ETC2.0ユニット	別売のETC2.0車載器を接続している場合、ON表示になっていますか？
ドライブレコーダー	別売のドライブレコーダーを接続している場合、ON表示になっていますか？

*2 同時には接続できません。

車種	<ul style="list-style-type: none"> ● 軽自動車 ● 小型車両 ● 普通車両 ● 中型車両 ● 大型車両 ● 特定車両
----	--

[お買い上げ時の設定：小型車両]

ツートップメニューを表示させる

MENUを押す

- ツートップメニューが表示されます。



ステアリングスイッチの設定をする

純正ステアリングスイッチを装備している車の場合、ステアリングスイッチに本機の機能を割り当てて、操作できます。

1 ツートップメニュー(P.24)から

情報・設定 を選ぶ

2 情報・設定メニューから

システム設定 を選ぶ

3 システム設定画面から

ステアリングスイッチ を選ぶ

4 設定したい機能を選ぶ



割り当て可能な機能	対応する本体ボタン/タッチキー
VOL UP	RX06 RX06W [+] 大 [RX06W] 大
VOL DOWN	RX06 RX06W [-] 小 [RX06W] 小
MUTE	消音 *1 ● オーディオの音声を一時的に消音
	電話に出る 電話に出る
	電話を切る 電話を切る(通話中)/電話に出ない(着信中)
TRACK UP	次へ
TRACK DOWN	前へ
AUDIO	AUDIO ● オーディオ画面に切換 ● オーディオメニューを表示
SOURCE	*2 ● オーディオの種類を切換(切り換わりかた→取扱説明書) ● 音声認識を起動(1秒以上押す)
MENU	[MENU] ツートップメニューを表示
現在地	[MAP] 現在地画面に切り換える
広域	広域 縮尺を広域に切り換える
詳細	詳細 縮尺を詳細に切り換える

● 初期化: 設定を初期化

5 車のステアリングスイッチで、機能を割り当てたいスイッチを1秒以上押す

● 手順**3**~**4**を繰り返し、ステアリングスイッチに機能を割り当ててください。

6 すべての機能を割り当てたら、完了を選ぶ

● ステアリングスイッチの設定が完了します。

お願い

● すべてのステアリングスイッチに機能を登録してください。機能が登録されていないステアリングスイッチがあると、正しく動作しない場合があります。

お知らせ

- 車種やグレードによっては、操作可能な機能が異なる場合があります。詳しくは下記サイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/navi/>
- ひとつのスイッチに複数の機能を割り当てることはできません。
- ステアリングスイッチ設定画面を表示中は、ステアリングスイッチで本機の操作はできません。

* 1 ランチャーメニューに「消音」を割り当てると、タッチキーでも操作できます。(→取扱説明書)
* ステアリングスイッチに「MUTE」を割り当てると、ランチャーメニューに「消音」を割り当てる必要はありません。

* 2 対応する本体ボタン/タッチキーはありませんが、ステアリングスイッチに機能を割り当てることができます。

GPS情報を確認する

1 ツートップメニュー(P.24)から、

情報・設定 を選ぶ

2 情報・設定メニューから **情報** を選ぶ

3 情報メニューから **GPS情報** を選ぶ

4 GPS情報を確認する



● 緯 度: 現在位置の緯度を表示

● 経 度: 現在位置の経度を表示

● 捕 捉 数: 測位に使用している衛星の数を表示

● 年 月 日: 現在の日付を表示

● 現在時刻: 現在時刻を表示

商標などについて

- 「ETC」、「ETC2.0」、「DSRC」は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- 「VICS」は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- MHLは、米国およびその他の国におけるMHL, LLCの商標または登録商標です。その他のすべての商標および登録商標は、米国およびその他の国におけるそれぞれの所有者に帰属します。
- AndroidはGoogle LLCの商標です。

- Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品名	数量
①	 ナビゲーションユニット	1
	 地図SDHCメモリーカード (本機に挿入済み)	1
②	 GPSアンテナ (コード4 m)	1
③	 地上デジタルアンテナA (紫)	2
④	 地上デジタルアンテナB (緑)	2
⑤	 地上デジタルアンテナ コードA (4 m)	2
⑥	 地上デジタルアンテナ コードB (4 m)	2
⑦	 コードクランパー	8

番号	品名	数量
⑧	 クリーナー	1
⑨	 電源コード	1
⑩	 車両・AVインターフェース コード	1
⑪	 マイク (コード4 m)	1
⑫	 両面テープ	1
⑬	 ワッシャー付き六角ねじ (M5 × 8 mm)	8
⑭	 圧着式コネクター	1
⑮	 マイクケーブル保護カバー	1

主な添付品

説明書キット	1
製造番号控え	1

- 本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 寸法は、おおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 包装材料などは、商品を取り出したあと、地域・自治体の定めに従って、適切に廃棄やリサイクルの処理をしてください。

お知らせ

- 本機は「B-CASカード」を付属していません。B-CASカード不要で、地上デジタル放送を視聴できます。

パナソニック株式会社 オートモーティブ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地

© Panasonic Corporation 2019

YEFM0412705A F0719-1099

